



SDG 16 誰一人も取り残さない世界へ⑬

平和

社会福祉法人 多摩養育園
理事長 足利正哲

美しい富士の姿で 新年を迎える
雄大な佇まいに心が整う

人間の争いは 止むことはなく
人々は傷つき 多くの命が失われている

そんな時 光明学園全園を回り
年長児と坐禅をする
そして 坐禅後 子どもたちに問う

喧嘩をしてもやってはいけないことは？
すると 子どもたちからは 同じ答えが返ってくる

ぶつたり 蹴ったり つねったりしてはいけない
暴力はいけない

更に問う
喧嘩を終わらせるには？

やりかえさない うそはつかない と

光明の子は戦争の終わらせ方を知っていた
また それは
私たち 大人たちへの静かな 問いかけでもある

さあ みなさん 新たな年の始まり
後世に 何がのこせるか 考えよう



2025多摩養育園・10大ニュース



- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 光友会結成60周年 ② 多摩養育園福祉大使設置10周年
新規任命 アローレ八王子
バレリーナ深沢祥子氏 ③ 7事業所 周年記念 ④ 光明第三こども園 大桜樹伐採・園庭工事
光明第四こども園 裏山園庭工事 | <ul style="list-style-type: none"> ⑤ 姉妹法人 多摩大和園訪問 ⑥ 日本赤十字社より銀色有功章受章 ⑦ 多摩養育園福祉まつり2025
新スリランカ大使ご臨席 ⑧ 8事業所 消防署より受彰 ⑨ 北村西望作「若き日の母像」受贈 ⑩ 光華・精華の大銀杏を「家族銀杏」と命名 |
|--|---|

多摩養育園福祉まつり2025

— 未来へつなごう 地域の輪 —

令和7年11月9日（日）光明檜原（光明第三こども園・檜の里）にて開催。当日はあいにくの雨で、屋内での開催となりましたが、新スリランカ駐日全権大使・八王子市長をはじめ1400名を超える方が来場。今回は、八王子の名僧ト山禅師400回大遠忌の年にあたり光明学園園児による稚児行列も行われ、福祉まつりに華を添えてくれました。17回目を迎えた福祉まつりは地域参加型に発展し、各事業所の町会・近隣関係団体・学校・後援会等20団体が参加し大盛況でした。



当日の様子を動画で公開！
ぜひご覧ください。

多摩養育園福祉大使設置10周年

法人の理念や活動を社会に広く知ってもらうために「福祉大使」を設置し10周年。福祉大使の皆様には広報・啓発活動だけでなく、園児・利用者の方々に向けた文化的な活動も行っていただき、その交流は貴重な体験の場となっています。



祝 令和7年度 周年事業

今年度は7事業所が節目のお祝いを実施。これも地域の皆様に支えていただいたおかげと感謝。これからも地域福祉の拠点として活動してまいります。



光明第三こども園75周年



光華65周年



光明第八こども園30周年



いきいきプラザ20周年



輝20周年



八王子市立石川保育園15周年



八王子市高齢者あんしん
相談センター大横10周年



若き日の母像 除幕式

令和7年11月14日（金）、多摩養育園発祥の地である光明第一保育園園庭にて、彫刻家 北村西望作「若き日の母」像の除幕式が地域の皆様、園児らにより行われました。本像は足利正哲理事長より寄贈され、未来を担う子どもたちが、母のぬくもりと慈しみの心を感じながら育ってほしいという、深い願いが込められています。



トピックス 5月～12月

納涼祭・なつまつり

6月・7月

法人一斉避難訓練

9月2日

高尾山登山

10月・11月

職員親睦団体 光友会



八王子まつり民踊流し 8月2日



法人運営協議会

8月29日

敬老会・敬老祝賀会

9月



創設者生誕日 11月15日

苦情解決第三者委員会 11月25日



ヴェルディBeサポーター選手来訪 8月・9月



運動会

9月・10月



日本赤十字社より受章

10月



12月14日水引細工体験



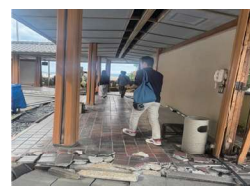
11月17日～19日 台湾旅行



9月22日 ディズニーオンアイス鑑賞



7月26日 桔梗屋工場見学 ひまわり畑ツアー



6月15日～17日 能登半島復興支援応援研修



12月18日クリスマス忘年会



11月29日劇団四季美女と野獣鑑賞



10月4日ボーリング大会



9月7日～9日 韓国旅行



7月22日納涼会

特集

地域の大きな家

【連携

地域と共に】

姉妹法人 多摩大和園訪問

令和7年10月9日、多摩大和園を訪問。「やまと苑」では、移転・改築当時のお話を伺いながら施設内を見学。館内には童謡や懐メロが流れ、利用者の皆さまがお話をしたり、テレビをご覧になったりと、穏やかに過ごされている様子が印象的でした。その後、九輪と梵鐘がシンボルの「さくら苑」を訪問。多摩大和園は、創設者足利正明氏によって設立、慈悲のこころをはじめとする経営理念に基づき、現在では、3施設を運営しています。今後も姉妹法人として、連携を深めながら、よりよい支援の提供に努めてまいります。



光明第八

(光明第八こども園)

学生によるチアリーディングやラグビー教室、地域の方による絵本の読み聞かせ、ヨガ教室、歯科医による講座など、幅広い年代の皆様がボランティアとして活躍！地域の皆様に見守られる中で、さまざまな人と出会い、関わることで、相手を思いやる気持ちの大切さを学び、心も体も大きく成長している子どもたちです。今後も、近隣スーパーでの作品展示や夏休みの居場所作りとして保育室を提供するなど、多くの方が交流できるような活動を進めていきます。



ヨガ教室



夏休みの居場所作り



歯科講座



絵本の読み聞かせ

いきいきプラザ

(光明高倉保育園・府中市立介護予防推進センター)

「世界を覗こう」は、英語や中国語などの“言葉”を通して、明星大学の留学生が講師となり、子どもと高齢者が一緒に外国の文化や遊びを学ぶ交流事業です。参加者は、他国の数字歌や簡単なゲームに挑戦したり、子どもたちからは、府中市の遊び場やおいしい食べ物を紹介するなど、遊びながら言葉や文化の違いを学んでいます。また、毎月行われるふれあい食堂（長寿ふれあい食堂推進事業）では、食育推進リーダー「パプリカ」と共に美味しい食事を提供する等、子どもと高齢者がいきいきと活動しています。



ルーマニアや中国の学生との交流



ふれあい食堂



敬老お祝いの会

連載「光明」⑧
多摩養老院の誕生その一

これも井上氏らのお力

東京都当局のたつての勤奨があつて、翌年隣接地に「多摩養老院」を新設することとなり、隣接は同じく井上庄之助さん。「先年はあなたが子供達をよく教えるためと云うので、申し訳ないが土地代金をいただいたが、今後は身寄りのない年寄りや世話する人のない年寄りを集めて世話をなさると聞いては、私もそろそろ疲れて来たし、妻も養女もいるが、どうも頼りにならない。その時はあなたにお世話になるかもしれない。それを思うと。もうお金は要らない。全部ただで差し上げます。お上の代わりどころか、神様仏様でなければ出来ない仕事をなさるあなた様に会えて良かった一生のうれしい出来事です。ただで全部差し上げます。井上庄之助が下さった！と覚えて下さるだけで申し分ありません」

多摩養老院の誕生

やがて、ここに多摩養老院が生まれ、その開設祝賀の行事として、関係者を集めて熱海温泉へ一泊旅行、主賓は井上庄之助様。薪を使わなくても自然に地の底から湯が湧いて出て来ると聞いて、びっくり仰天。「話に聞いていたけれど、本当だねあー温泉旅行に連れて来られ、もうこれ以上の喜びはない！」驚かれて、足を滑らせ、ひっくり返ったが、幸い怪我もない。晩餐会に小酌されて寝に就く。これが庄之助さん一代はじめてのそして終わりの旅になるうとは。その一年程度の事或夕、田から帰って夕飯終わり、「あゝ疲れたが田んぼも全部すんだので大安心だ！」と就寝したまゝ大往生とのこと。

(「光明」第160号平成9年11月15日より転載)

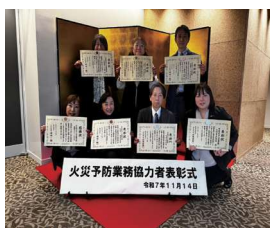
外国人技能実習生送別会

インドネシアから来日し、柿の里で共に働いてきた3名の技能実習生が、3年間の実習期間を終了。内1名は、継続勤務。10月1日、法人本部「らうんじ天」でお別れ会を開催。これまでの歩みを共に振り返り、活躍を願っています。



令和7年度火災予防業務協力者表彰式

令和7年度「火災予防業務協力者表彰式」で日頃の点検や訓練の取り組みが評価され、当法人の8施設が表彰されました。今後も安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。



光華・精華 大銀杏 愛称決定

光華・精華にある大銀杏を「家族銀杏」と命名。これからも、この拠点の象徴として地域の皆さまに親しまれる存在となることとしよう。



新役員・評議員・顧問紹介

新役員・評議員・顧問が選任されましたのでご報告致します。新体制で更なる事業発展に取り組んで参りますので、ご支援賜りますようよろしくお願いいたします。

理事長	足利 正哲	評議員	菊谷 文男
業務執行理事	須崎智佳子	評議員	高橋みさ子
業務執行理事	土方 邦子	評議員	土井 俊彦
業務執行理事	豊田 聡	評議員	渡辺 宏幸
理事	露口 長	評議員	柳内 えり
理事	水野 淳	評議員	鈴木 玲央
理事	足利 正尊	評議員	村上 正人
理事	米持 尚利	評議員	新塚本恵里香
理事	佐藤 剛	評議員	新石井 淳
監事	青木 訓行	顧問	青山 侑

題字・表紙写真 足利正哲

編 集 後 記

あけましておめでとございます。昨年は、食品の値上げ・気候変動など暮らしを取り巻く環境は大きく揺れ動き、生成AIの進展も社会に大きな変化をもたらした年となりました。2026年は、変化の大きい時代だからこそ「人と人との繋がり」の価値が改めて見直される一年となりそうです。今年も多摩養育園は地域の大きな家としての地域の皆様とともに歩んでまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

広報紙編集委員会